



切磋琢磨

豊田市立井郷中学校
令和6年10月11日

いきいきと学び さわやかに ともにのびゆく われら井郷中生

前期が終業します。成長したことを確かめよう。

今日で前期の授業が終わります。4月5日の入学式・始業式から始まり、何日経ったかわかりますか。

今日でちょうど100日間になります。3年生は修学旅行の後のお休みがあったので1日少ない99日です。通知表には、9月までの数字なので、91と90が入っています。

過ぎてみればあっという間かもしれません、思い返せば、6か月 長い時間です。

一日一日、何があったか、何をがんばったか。一つ一つの思い返すことは難しいと思います。でも、確実に一日一日の積み重ねがあって、今日この日があります。ここまで成長があります。みなさん、がんばってここまで來ました。

自分の成長を確かめて、次への目標を決めて、後期の生活をしていきましょう。

豊田市の学校のきまりで、10月14日（月）までが前期です。15日（火）から後期が始まります。20年前の平成16年（2004年）から豊田市の中学校は二期制になりました。

回りの市では、三学期制のところも多いです。場所が変われば・・・その場所のルールで生活することになります。

思い返すと、昨年はここに全校生徒がそろっていませんでした。学級閉鎖をしているクラスがあったからです。1年たつと、いろいろな出来事が重なって、変化を感じますね。

さて、昨年もこの時期に、稻を見せました。

が、5月に田植えをしてから、すくすく伸びて、9月に刈り取りをしました。約4か月でここまで収穫できるように生長します。

種もみ この一粒から、こんなに多くの稲穂が出て、何倍もの収穫になります。縄文時代から弥生時代にかわるところで、**稻作が始まると人間にとて大きな変化となりました。**食料の確保だけに生きていくことなく、他の事に時間を使えるようになりました。いろいろなことを発明したり、工夫したり、文明や化学が発達してきました。

そして、**現代はコンピューターやAI、が発達して便利な世の中になりました。**便利・・・本当に便利なのか？知らなくてよいことを知る。噂話、聞きたくないことを聞かされる。よくないこともあります。便利な機械を悪いことに使う人もいます。なりすまして人をだます人もいます。大切なのは、人間の心です。機械を使う人間が、正しい判断ができるかどうかが大切です。

稻の話に戻しますが、みなさんの半年では、どう成長しましたか。稻は、田植えの小さな苗から、ぐんぐん伸びて、収穫できるお米になります。

でも、人間の成長は、見えにくいものです。何ができるようになつたのか、自分で認識しにくく、成長するのに、稻よりもっともっと長い時間が必要だからです。その分かりにくく、気づきにくいものですが、一つ一つ、一日一日に何かが変わって、今があります。その自覚をもてるように、自信をもてるようになってほしいです。

生徒会役員選挙の立ち合い演説会で、校長先生の小学校5年生のことを話しました。一つ一つのできごとが、自分という人間を育てていきます。大切に過ごしてください。

実る稻穂は、しっかり根を張り豊かな土壤に育つ。

成長するために、土台、基盤を大切にする井郷中生でありたい。

実る稻穂は、一日にして成らず 少しづつ実りに向けて

成長を信じて、日々切磋琢磨する井郷中生でありたい。

実るほど、頭を垂れる稻穂かな

成長し、ますます謙虚な井郷中生でありたい。

繰り返しますが、

人間は、どこで実るというのか、分からぬけど、

稻、お米よりもっともっと時間がかかります。

ゆっくりしっかりと 自分の実りに向けて準備をしていってください。

人は変わります。良くも悪くも変わります。**目標を持つことが大切です。目標をもって、なりたい自分に向かって変わってください。**

後期の成長も期待しています。

新たな時代、「社会の創り手」としてみなさんは、SDGsの世界で正解のない社会を、問い合わせをもって生き抜いていく力を蓄えてほしいと思います。

(前期終業式にて 校長講話より)

